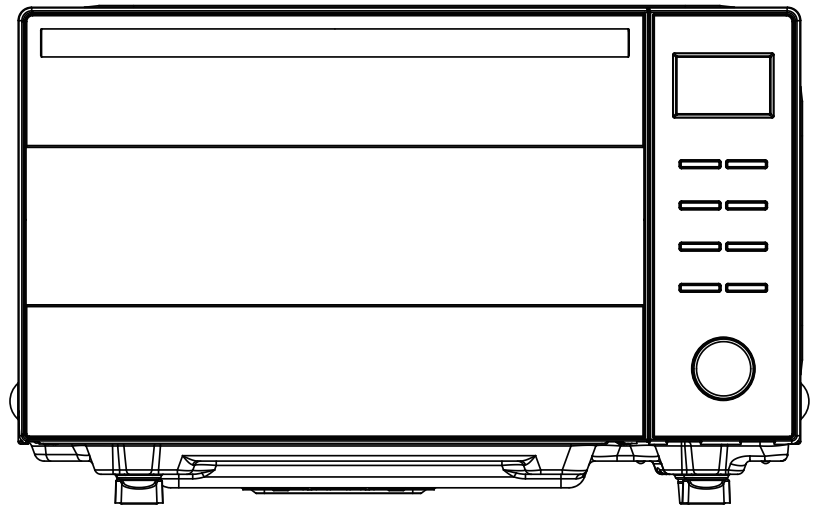




Life on Products



LPRKC004 取扱説明書

オーブンレンジ

この度は、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
お使いになる前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は保証書付きですので、大切に保管してください。

もくじ

はじめに	もくじ	1ページ
	設置について	2ページ
	各部名称	3～4ページ
	安全上のご注意	5～7ページ
	容器について	8～9ページ
	ご使用前の準備	10～11ページ
<hr/>		
使い方	ご使用方法	[自動メニュー] 12～26ページ
	ご飯・冷凍ご飯をあたためる	12～14ページ
	お弁当・お惣菜をあたためる	15ページ
	牛乳をあたためる	16ページ
	野菜をゆでる	17～18ページ
	解凍・半解凍する	19ページ
	トーストを焼く	20ページ
	ピザを焼く	21ページ
	グラタンを焼く	22ページ
	から揚げ	23ページ
	クッキーを焼く	24ページ
	スポンジケーキ	25ページ

	[手動料理]	26～31ページ
	レンジで加熱する	26ページ
	レンジ加熱の設定時間の目安	27～28ページ
	オーブンで加熱・発酵する	29～30ページ
	グリルで加熱する	31ページ

	加熱のしくみ、角皿について	32ページ
<hr/>		
お手入れ	お手入れ方法	33～34ページ
<hr/>		
困ったときは	調理で困ったとき	35～36ページ
	故障かな?	37～38ページ
	表示について	39ページ
	アフター販売	39ページ
	アフターサービス	40ページ
	カスタマーサポートセンター	40ページ
	仕様	41ページ
	保証規定	42ページ
	保証書	裏表紙

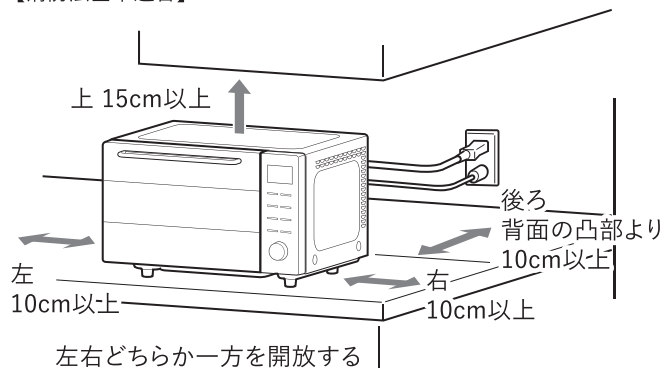
設置について

壁との間をあけて置く

製品の側面・背面には庫内からの排気口があります。スペースがないと、過熱し火災の原因となります。

- ・熱に弱い壁・家電製品・家具・コンセントがある場合は、右記の記載寸法以上にすき間をあけて置いてください。また、コンセントが排気口の近くにあったり、汚れが気になるときも、排気が直接当たらないよう右記の記載寸法以上にすき間をあけて置いてください。
- ・後方がガラスの場合、温度差で割れるおそれがあるので、20cm以上あけてください。(あけても温度差によって割れることがあります)
- ・排気による壁の汚れや結露が気になる場合は、壁との距離をあげるか、壁面にアルミホイルなどを貼ると壁の汚れや蒸気の影響を軽減できます。
- ・魚を焼くなど油煙の出やすい調理を頻繁にされる場合は、本体上面を開放できる場所に置くことをおすすめします。

【消防法基準適合】



十分な強度を持った平らな場所に置く

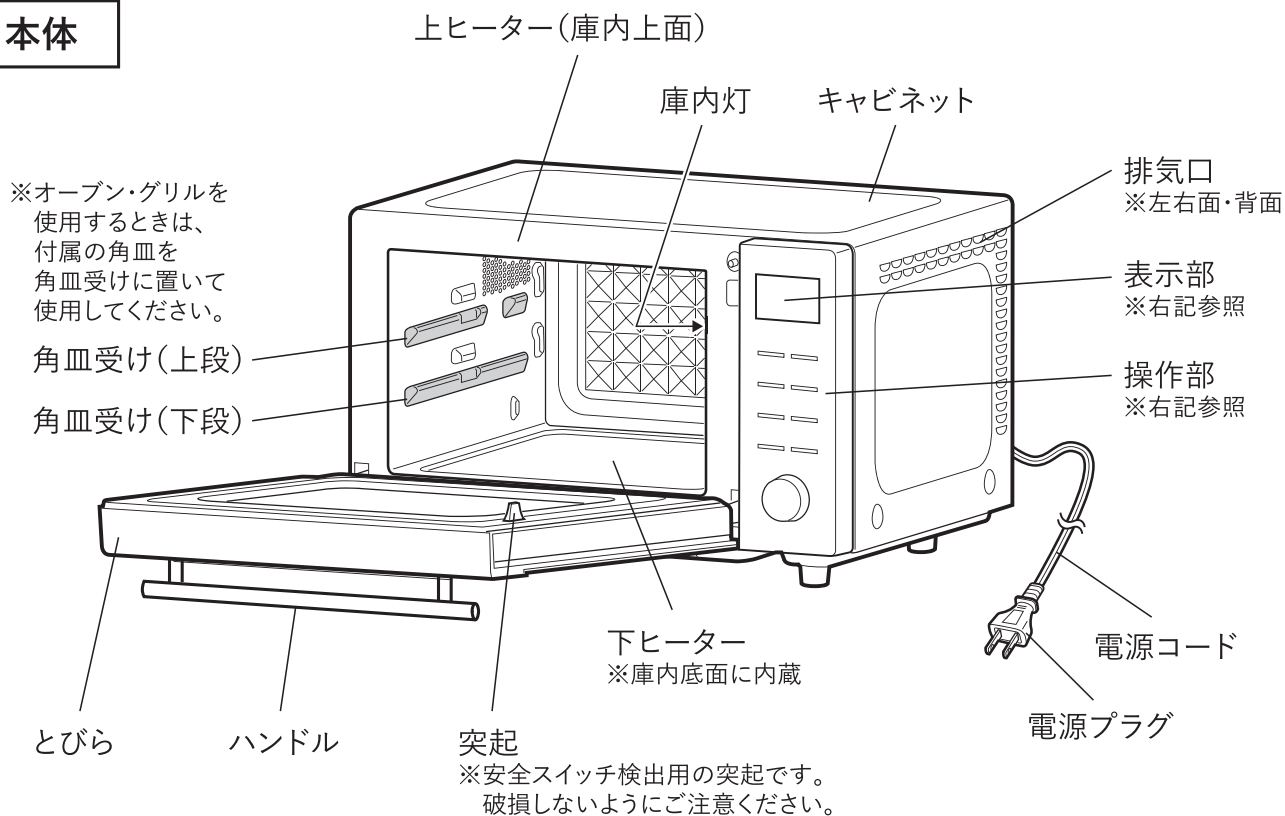
強度が不十分なテーブルや傾いた場所に置くと、落ちたり倒れたりして、怪我の原因となります。

また、結露水が床にこぼれる場合があります。

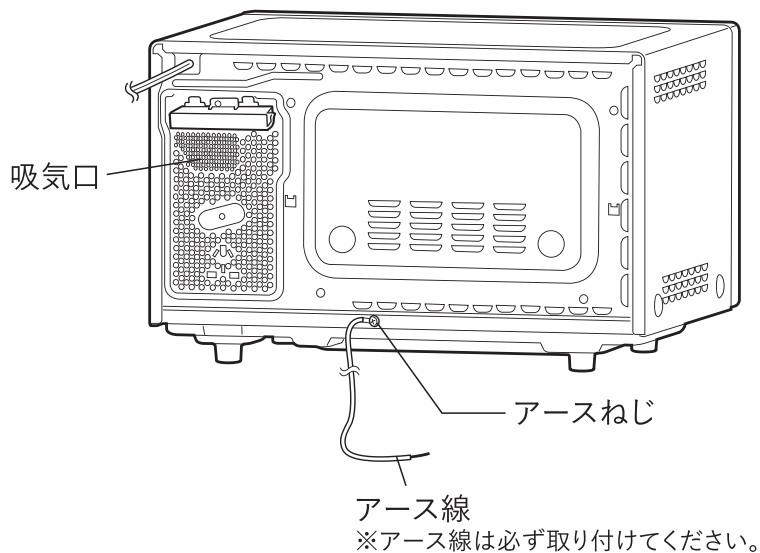
もし地震などで転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくてもそのまま使用せず弊社カスタマーサポートセンターに点検を依頼してください。

各部名称

本体



背面



付属品



各部名称

操作部

自動メニュー

レンジ

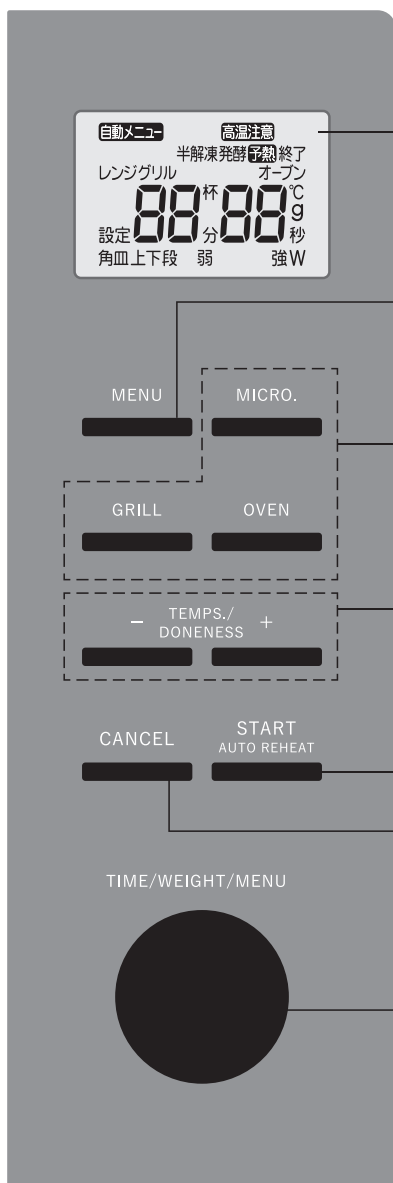
- 1 あたため
- 2 冷凍ご飯
- 3 お弁当
- 4 お惣菜
- 5 牛乳
- 6 ゆで野菜(葉菜)
- 7 ゆで野菜(根菜)

解凍

- 8 肉・魚
- 9 刺身

オープン

- 10 トースト
- 11 ピザ
- 12 グラタン
- 13 から揚げ
- 14 クッキー
- 15 スポンジケーキ



電源の入れかた

とびらを開けると電源が入ります。

表示部

自動メニュー番号・時間・温度・調理内容などを表示します。
※イラストは、説明のためすべてを表示しています。

『MENU』(自動メニュー)ボタン

自動メニュー(3~15)を選択するときに使用します。

『MICRO.(レンジ)』『GRILL(グリル)』『OVEN(オープン)』(手動調理)ボタン

料理に合わせて、手動で時間や温度を設定するときに使用します。

『TEMPS./DONENESS』(温度(オープン)/仕上り)ボタン

自動メニューの仕上りの強さやオープン・発酵の温度を調節するときに使用します。(下記参照)

『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたため)ボタン

調理を開始/再開するときに使用します。押すと、自動メニュー「1 あたため」ですぐに調理を開始します。

『CANCEL』(取消)ボタン

ボタン操作を間違えたときや、途中で調理を中止するときに押します。

『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤル

調理時間・重量・自動メニューを設定するときに使用します。

とびらメニュー表示

自動メニューで調理するときに、1~15のメニュー番号を設定します。

『TEMPS./DONENESS』(温度(オープン)/仕上り)ボタンについて

自動メニューで仕上りの強さを調節するときや、手動調理のオープン・発酵で温度を調節するときに押します。仕上りは、「弱」~「表示なし(標準)」~「強」の3段階で調節できます。※メニュー選択後または加熱スタート後、10秒以内に押しください。



弱めに設定するとき

強めに設定するとき

安全上のご注意

本製品を安全にご使用していただくため、ご使用前に本書を必ずよくお読みになり、十分にご理解していただいたうえで、ご使用を開始してください。本製品は家庭用です。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



このような表示は禁止を示します。



このような表示は強制を示します。

警告



改造禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、改造・修理を行わないでください。
発火したり、異常動作して怪我をするおそれがあります。



禁止

吸排気口や穴などに、ピンや針金などの金属物や異物を入れないでください。
感電・怪我の原因となります。万が一異物が入った場合は、コンセントから電源プラグを抜いて弊社カスタマーサポートセンターに連絡してください。



強制

使用前に包装材はすべて取り除いてください。
発火・火災・やけどの原因となります。



強制

ポリ袋は幼児の手の届かない所に保管または廃棄してください。
頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。



アースを接続

アースを確実に取り付けてください。
感電・怪我のおそれがあります。アース端子が無かったり、アース線の長さが足りない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。



アースを接続

次のような場所で使用する場合は、法令でアース工事(D種設置工事)が義務付けられています。
・湿気の多い場所: 土間、コンクリート床、貯蔵庫など。
・水気のある場所: 洗い場などの水を扱うところ、水滴が飛び散るところ、地下室など結露しやすいところ。



禁止

ご自身でアース端子の設置工事はしないでください。
事故・感電・怪我のおそれがあります。



禁止

燃えやすいものや熱に弱いものを本体に近付けないでください。
火災・発煙・やけどのおそれがあります。



禁止

油煙・蒸気の発生する場所・湿気の多い場所・水がかかる場所・熱源のそばで使用しないでください。
火災・発煙・絶縁不良・感電・漏電のおそれがあります。



禁止

畳・カーペット・布など燃えやすいものの上に置いて使用しないでください。
火災のおそれがあります。



禁止

吸排気口付近にカーテンや布製のブラインドを近付けないでください。
火災のおそれがあります。



強制

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
火災・故障の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告



強制

電源プラグは、ホコリや汚れが付着していないか確認し、根元まで確実に差し込んでください。
ホコリや汚れが付着したり、ガタつきで接続が不完全な場合は異常に発熱し、電源プラグが溶けたり変形して感電・火災の原因となります。



禁止

電源コードを束ねたまま使用しないでください。
発熱・発煙・火災の原因となります。



禁止

電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
ショートによる火災・感電の原因となります。電源コードが破損したときは、運転を停止し、弊社カスタマーサポートセンターへご連絡ください。



禁止

電源コードを傷つけないでください。
加工したり、引っ張ったり、上に物をのせると破損して、火災・感電の原因となります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
火災・感電の原因となります。



強制

電源コードを抜くときはコードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。
感電・ショートの原因となります。



禁止

ペットなどの動物を近づけないでください。
電源コードを噛んだり、排泄物などがかかり漏電・感電・故障・火災の原因となります。



強制

長期間使用しないときは、必ず電源プラグを抜いてください。
絶縁劣化による感電・漏電の原因となります。



禁止

幼児や体の不自由な方だけのご使用はおやめください。
怪我・感電・やけど・部品を誤飲するおそれがあります。



強制

水平で安定した場所で使用してください。
不安定な場所で使用すると、ドアの開閉などで転倒し、怪我・火災の原因となります。



プラグを抜く

異臭がする・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる・異音がする・火花や煙が出るなどのときは、運転を停止して電源プラグを抜いてください。
そのまま運転を続けると火災、感電の原因となります。運転を停止し、弊社カスタマーサポートセンターへご連絡ください。



禁止

使用中に電源プラグを抜き差ししないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

調理以外の用途に使用しないでください。
故障・火災の原因となります。



禁止

とびらに物をはさんだまま使用しないでください。
電波漏れによる発火の原因となります。



禁止

本体の上に物を置いたり布を被せたりしないでください。
置いているものが加熱されて発煙・発火・火災の原因となります。



禁止

庫内で食品が燃えた場合はとびらを開けないでください。
燃えやすいものを本体から遠ざけて、コンセントから電源プラグを抜いて火が消えるのを待ってください。火が消えない場合は水や消火器を使用して消火してください。その後弊社カスタマーサポートセンターへご連絡ください。

安全上のご注意

⚠ 警告



禁止

食品は加熱しすぎないでください。

発煙・発火・火災の原因となります。説明書27～28ページの設定時間を参考にして様子を見ながら加熱してください。



禁止

100g未満の食材は自動メニューで加熱しないでください。

発煙・発火・火災の原因となります。



強制

缶詰・袋詰・瓶詰・レトルト食品・真空パック入り食品は他の耐熱容器に移し替えて加熱してください。

発煙・発火・火災・怪我・やけどの原因となります。また、脱酸素剤などの鮮度保存剤は取り除いてください。



強制

お手入れは必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行ってください。

感電・やけど・故障の原因となります。



禁止

庫内に汚れや水分が付着したまま加熱しないでください。

電波が汚れや水分に付着して火花が発生し、発煙・発火・火災・故障・サビの原因となります。

汚れや水分が付着した場合は庫内が冷めてから拭き取ってください。



禁止

庫内が空のまま加熱しないでください。

火花が出て発煙・発火・火災の原因となります。

⚠ 注意



強制

設置の際は壁との間を10cm以上離してください。後方が窓などガラスの場合は20cm以上離してください。

壁の汚損・変形・ガラスの破損の原因となります。



強制

テレビ・ラジオ・アンテナ線などから4m以上離して設置してください。

映像や音声が乱れる原因となります。



強制

ご使用の環境により、無線LAN機器に影響が出る場合があります。

そのような場合は無線LAN機器の取扱説明書をお読みになって使用してください。



強制

移動の際は本体の左右を抱きかかえるようにしっかり持って運んでください。

怪我の原因となります。



禁止

とびらにぶら下がったり無理な力を加えないでください。

とびらが変形して電波漏れの原因となります。また、転倒・落下などにより怪我・故障の原因となります。



強制

とびら・庫内底面・庫内上部はガラス製の部品のため、破損させないように丁寧に取り扱いってください。

怪我・故障の原因となります。



強制

とびらを開閉するときは可動部やとびらに指をはさまないように注意してください。

怪我の原因となります。



強制

少量の食材を加熱後は庫内が大変熱くなりますので加熱直後に触らないようにしてください。

やけど・怪我の原因となります。



強制

ベビーフードや介護食を温める際は、加熱後によくかき混ぜて温度を確認してください。

やけど・怪我の原因となります。



強制

食品を取り出すときやラップを外すときはやけどに注意してください。

容器について

加熱前にモードを確認してください。間違えると発煙・発火のおそれがあります。

ここに記載のない容器の使いかたについては、販売店または容器の製造メーカーにお問い合わせください。

加熱モード	使える容器	注意事項
全モード	耐熱ガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・加熱後急冷すると、割れるおそれがあります。 ・オーブン調理など高温になる料理は、急熱・急冷に強い耐熱ガラス製容器を使用してください。
レンジモード	陶器・磁器	<ul style="list-style-type: none"> 次の容器は使用できません。 ・金銀を使った容器(火花が飛ぶおそれがあります) ・色絵が付いた容器(絵がはがれるおそれがあります)
	耐熱温度 140°C以上の 耐熱容器	<ul style="list-style-type: none"> 次のものは使用できません。 ・油脂・糖分・塩分の多い食品、ケチャップなど(高温になり危険です) ・密閉性の高いふた、熱に弱いふた ・「電子レンジ使用可」の表示のない容器 ・アルミなど金属で表面加工された容器や袋、市販のレンジゆで卵器
	耐熱温度 140°C以上のラップ	<ul style="list-style-type: none"> 油分の多い料理は高温になるので使えません。 ポリエチレン製のラップは、溶けて燃えることがあるので使用できません。
オープン・ グリルモード	耐熱性のある 陶器・磁器	<ul style="list-style-type: none"> オーブン用の表示のあるもの、グラタン皿などが使用できます。 耐熱性のない陶器・磁器は使用できません。
	鉄・アルミニウム・ ホーローなどの 金属製の容器、 金網、金串、 アルミホイルなど	<ul style="list-style-type: none"> 取っ手が樹脂のものは溶けるため使用できません。
	シリコン製の容器	<ul style="list-style-type: none"> オーブンの設定温度は、【容器の耐熱温度の-30°C】以下にしてください。例：耐熱温度230°Cの容器の場合、設定温度は200°C以下上段・庫内底面は、設定温度より高温になり、容器が変形することがあるため、上段や庫内に直接置かないでください。

容器について

加熱モード	使用できない容器	注意事項
全モード	耐熱性のないガラス カットガラス 強化ガラス 紙製の容器	カットガラスや強化ガラスなど、ガラスの厚みの変化が大きなもの、ひずみのあるものも使用できません。耐熱加工を施した紙・オープンシート・クッキングシート・ケーキ用硫酸紙はそれぞれのパッケージに表示されている耐熱温度に従って使用することができます。 ※ヒーター加熱では庫内底面に敷いて使用しないでください。 (指定されたメニューを除く)
レンジモード	漆器・木製・ 竹製の容器	塗りがはがれたり、ヒビが入るおそれがあります。 火花が出たり、燃えたりすることがあります。
	鉄・アルミニウム・ ホーローなどの 金属製の容器、 金網、金串、 アルミホイルなど	火花が出るため使用できません。
	耐熱性のある 陶器・磁器	溶けて変形したり、割れたりするおそれがあります。ポリエチレン・スチロール・フェノール・メラミン・ユリア樹脂などは使用できません。
オープン・ グリルモード	プラスチック容器・ ラップ※	溶けて変形したり、割れたりするおそれがあります。 ※ラップは「発酵」で使えます。耐熱性のものをお使いください。

ご使用前の準備

⚠ 警告

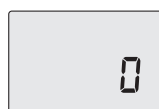
アースを確実に取り付けてください。
アースを取り付けていない場合、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

1. 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
※電源プラグをコンセントに差し込んでも電源は入りません。電源を入れるときは、1度とびらを開けてください。
2. 庫内の空焼きを行ってください。
初めてお使いのときは空焼きを行い、庫内の油を焼き切る必要があります。
庫内の空焼きのしかたは、11ページをご参照ください。

本製品の機能について

・電源の入れかた

本製品は、とびらを開けると電源が入り、表示部に「0」と表示されます。



・オートパワーオフ機能について(省エネ機能)

本製品は、操作をしていない状態が15分続くと自動で電源が切れ、表示部が消灯します。

※表示部に「高温注意」と表示されている間は、電源が切れません。

・食品の取り出し忘れお知らせ機能

本製品は加熱終了後、食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。

とびらを開けるか、「取消」ボタンを押すと止まります。

・ブザー音の消しかたと戻しかた(消音モード)

本製品は、操作音や加熱終了後のブザー音を消したり、再び鳴るようにすることができます。

・ブザー音の消しかた(消音モード)

「0」表示中に  を押しながら  を約3秒間押してください。

「ピー」と鳴り、表示部に「0ff」と表示され、消音モードに切り替わります。

・消音モードの戻しかた

「0」表示中に  を押しながら  を約3秒間押してください。

「ピー」と鳴り、表示部に「0n」と表示され、消音モードが解除されます。

・加熱後のファンの動作について

本製品は加熱終了後、電気部品を冷却するため、ファンが動作することがあります。

ファンが動作中は電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。

・加熱のしくみについて

本製品の「加熱のしくみ(32ページ)」をご参照ください。

付属の角皿の取り扱いについて

オーブン、発酵、グリルなどで使用します。

※表示部に「レンジ」が表示されるレンジモードでは使用できません。

火花が出る原因となります。

※角皿のお手入れを行うときは、鋭利なものや金属製のたわしなどでこすらないでください。

表面加工がはがれたり、サビの原因となります。



角皿

ご使用前の準備

庫内の空焼き・脱臭方法

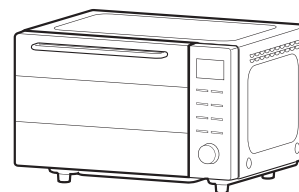
初めてお使いのときは空焼きを行い、庫内の油を焼き切ってください。
※最初に煙が出たり、臭いがしますが、故障ではありません。

⚠ 注意

・ペットなどの小動物は別の部屋に移し、換気のために換気扇を回すか窓を開けてください。
・空焼き・脱臭は、ヒーターで加熱するため本体が熱くなります。

1. 庫内には何も入っていないことを確認し、とびらを閉めてください。

※庫内が汚れている場合は、必ず汚れを拭き取ってから行ってください。



2. **OVEN** を2回押し、予熱なしを選びます。

※とびらを閉めて1分以内に押ししてください。



3. **TEMP./DONENESS** を押し、200°Cに設定してください。



4. 『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して20分に合わせてください。



5. **START AUTO REHEAT** を押すとスタートします。

6. 空焼きが終わるとブザーが3回鳴ります。 表示部には「高温注意」と表示されます。



7. とびらを開けて庫内の温度を冷ましてください。

※とびらのガラス面や庫内が熱くなっているのでご注意ください。

ご使用方法

自動メニュー1・2／ご飯・冷凍ご飯をあたためる

- ・「1 あたため」「2 冷凍ご飯」メニューで一度にあたためられる分量は100～300gです。
- ・室温・冷蔵のご飯やおかずは「1 あたため」メニュー、冷凍したご飯やおかずは「2 冷凍ご飯」メニューを使用します。

⚠ 警告

100g未満の食品は自動メニューで加熱しないでください。
過加熱となり、食品が発火する原因となります。

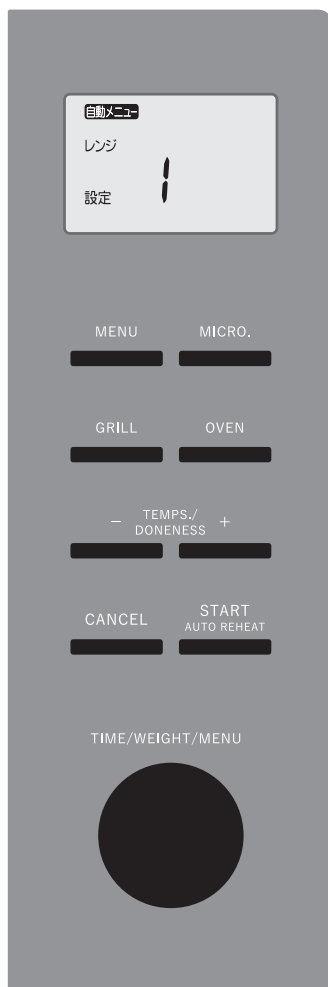
食品は加熱しすぎないでください。

飲みものは、手動調理の「レンジ」で時間を控えめに設定し、様子を見ながらあたためてください。
異なったメニューであたためると、発煙・発火・突然沸騰する原因となります。

レンジモードでは角皿・金属容器・アルミホイル・金属を使用した器などを使用しないでください。
火花が発生し、発煙・発火・火災・故障の原因となります。

レンジモードで飲み物や油脂の多いものは加熱しすぎないでください。

取り出すときや取り出した後に突然沸騰する場合があります。またインスタントコーヒーなどの粉末を入れた場合にも突然沸騰することがあり、やけどの原因となります。

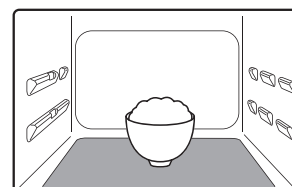


ご飯をあたためる場合で説明しています。

1. 食品を庫内中央に置いてください。

食品の量に合わせた耐熱性の容器に入れてください。

※角皿は使えません。



2. とびらを閉め **START AUTO REHEAT** を押してください。

3. 「1 あたため」で加熱を開始します。

※表示部が消灯しているときは、
1度とびらを開閉して電源を入れてください。

冷凍ご飯や冷凍おかずをあたためるときは、

START AUTO REHEAT を押して「2 冷凍ご飯」に合わせてください。

押すたびに「1 あたため」と「2 冷凍ご飯」が切り替わります。

お好みで仕上りを調節する

スタート後、10秒以内に
『TEMPS./DONENESS』(温度(オープン)/仕上り)
ボタンを押して調節してください。



ご使用方法

加熱中は表示部に残り時間が表示され、終了するとブザーが3回鳴ります。

※食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。(5分間)
とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。

※容器が熱くなっているので、注意して取り出してください。

※加熱終了後、電気部品を冷却するため、ファンが動作することがあります。

ファンが動作中は電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。



加熱終了後、さらに加熱したいとき

手動調理の「レンジ」で出力と時間を設定して様子を見ながら加熱してください。

自動メニューでは食品の種類や状態によってはうまくあたたまらない場合があります。

※加熱を繰り返し行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。加熱が足りない場合は手動調理の「レンジ」で様子を見ながら加熱時間を追加してください。

あたためる食品と使用ボタン

食品名	使用ボタン	ラップ	参照ページ
ご飯	1 あたため	－	12ページ
冷凍ご飯	2 冷凍ご飯	する	12ページ
コンビニ弁当	3 お弁当	－	15ページ
野菜の煮物	4 お惣菜	－	15ページ
煮魚	4 お惣菜	する	15ページ
シュウマイ	4 お惣菜	する	15ページ
牛乳	5 牛乳	－	16ページ
シュウマイ(冷凍)	手動調理「レンジ」	する	26ページ
カレー・シチュー	手動調理「レンジ」	する	26ページ
カレー・シチュー(冷凍)	手動調理「レンジ」	する	26ページ
肉まん・あんまん	手動調理「レンジ」	する	26ページ
スープ・みそ汁	手動調理「レンジ」	－	26ページ
酒かん	手動調理「レンジ」	－	26ページ

室温や冷蔵の食品はラップをしないで加熱する(ラップをする食品もあるので上表を参考にしてください)

- ・ご飯……かたまりをほぐし、冷蔵のご飯など固めのものは水を振りかけて加熱します。
- ・煮物……煮汁を切って加熱します。煮魚など身がはじけるおそれのあるものは、ラップをします。
- ・蒸しもの……バサついているときは霧を吹いて加熱します。

冷凍した食品は器にのせて、ラップをして加熱する

- ・冷凍ご飯……ラップに包んである冷凍ご飯は、皿の上のせて加熱します。
- ・丸めたり、大量のご飯をひとまとめにすると、中まであたたまりにくくなります。
- ・保存容器や保存袋などに入れると、「1 あたため」「2 冷凍ご飯」ではうまくあたたまりません。

ご使用方法

カレーや八宝菜のようなとろみのある食品はラップをして加熱してください。

深めの器に入れ、ラップをして加熱後、混ぜ合わせます。

ラップをかけるときはゆったりとかけてください。

「1 あたため」「2 冷凍ご飯」は、食品の蒸気をセンサーが検知して加熱を終了させます。

ラップをきつくかけると蒸気を検知できず、加熱しすぎる場合があります。

(加熱のしすぎは、発煙・発火の原因となります)

ラップをするときは、ゆとりをもたせて軽くかぶせてください。また、密閉容器などのふたは外してください。

次の食品は手動調理の「レンジ」であたためてください。(26ページ参照)

自動であたためるとうまくあたまらないことがあります。

- ・みそ汁、スープなどの汁物
- ・カレー、シチューなどのとろみのあるもの
- ・肉まん、あんまん、冷凍ゆで野菜
- ・市販の冷凍食品……パッケージの記載を参考にして、様子を見ながらあたためてください。

牛乳は「5 牛乳」ボタンであたためてください。(16ページ参照)

次のものは「1 あたため」や「4 お惣菜」であたためないでください。

- ・量の少ないもの
- ・油のついた食品(バター付きパン、フライなど)
- ・水分の少ないもの(ポップコーン、干もの、落花生など)、乾燥しているもの
- ・根菜類(さつまいも、にんじん)
- ・高温になりやすいもの(あんまんなど)
- ・パセリ、青じそなどの乾燥している食材

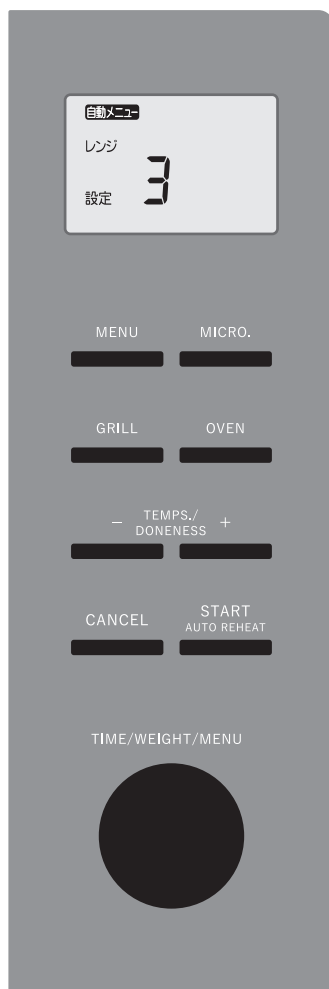
ご使用方法

自動メニュー3・4／お弁当・お惣菜をあたためる

- ・「3 お弁当」メニューで一度にあたためられる分量は1人分(お弁当1個)です。
- ・「4 お惣菜」メニューで一度にあたためられる分量は100～200gです。(コロッケ:1～2個程度、えびの天ぷら:1～4尾程度)

⚠ 注意

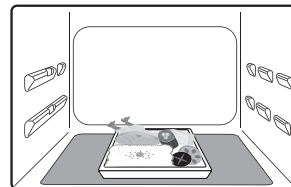
- ・コンビニエンスストアやスーパーマーケットで売っているお弁当以外は、電子レンジ加熱に向かない容器(発泡スチロールなど)を使っていることがあるため、そのままあたためずに他の容器などに移し替えてからあたためてください。
- ・しょうゆやマヨネーズなどの調味料は必ず取り外してください。
- ・卵は加熱しないでください。ゆで卵や目玉焼きが入っている場合は、破裂するおそれがあるため必ず取り出してください。



1. 食品を庫内中央に置いてください。

食品は中央に置き、1つずつあたためるか、間隔を開けてあたためてください。積み重ねたり、1度にたくさん入れると、十分にあたためられません。
※お弁当は、購入後なるべく早めにあたためてください。

※角皿は使えません。



2. **MENU** を押すか、『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して「3 お弁当」に合わせてください。

※とびらを閉めて1分以内に押してください。

3. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、表示部に残り時間が表示され、終了するとブザーが3回鳴ります。

※残り時間は食品の種類・量によって変わります。



お好みで仕上りを調節する

メニュー選択後またはスタート後、10秒以内に『TEMPS./DONENESS』(温度(オープン)/仕上り)ボタンを押して調節してください。



- ※食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
- ※容器が熱くなっているので、注意して取り出してください。
- ※加熱終了後、電気部品を冷却するため、ファンが動作することがあります。ファンが動作中は電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。

加熱終了後、さらに加熱したいとき

手動調理の「レンジ」で出力と時間を設定して様子を見ながら加熱してください。自動メニューでは食品の種類や状態によっては十分にあたためられない場合があります。

- ※加熱を繰り返し行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。加熱が足りない場合は手動調理の「レンジ」で様子を見ながら加熱時間を追加してください。

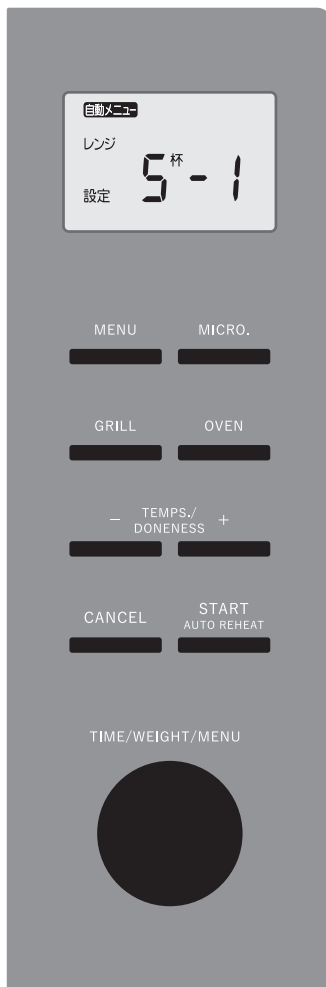
ご使用方法

自動メニュー5／牛乳をあたためる

「5 牛乳」メニューで1度にあたためられる分量は1杯～2杯です。

⚠ 注意

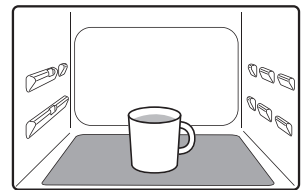
- ・飲みもの、油脂の多い食品は加熱しすぎないでください。飲みもの（コーヒー、牛乳、豆乳、水）などの液体は、取り出すときに突然沸騰し、やけどの原因となります。
- ・飲みものはあたためる前後にスプーンなどでよくかき混ぜてください。



1. 食品を庫内中央に置いてください。

※2杯の場合は中央に寄せて置いてください。

※角皿は使えません。



2. **MENU** を押すか、『TIME (調理時間)』『WEIGHT (重量)』

『MENU (自動メニュー)』ダイヤルを回して「5 牛乳」に合わせてください。

※とびらを閉めたらあたためる牛乳の杯数に合わせて1分以内に「5-1 (1 杯)」または「5-2 (2 杯)」に設定してください。

3. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、

表示部に残り時間が表示され、終了するとブザーが3回鳴ります。

※残り時間は食品の種類・量によって変わります。



お好みで仕上りを調節する

メニュー選択後またはスタート後、10 秒以内に『TEMPS./DONENESS』(温度(オーブン)/仕上り) ボタンを押して調節してください。



- ※食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
- ※容器が熱くなっているので、注意して取り出してください。
- ※加熱終了後、電気部品を冷却するため、ファンが動作することがあります。ファンが動作中は電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。

容器の種類・大きさ・牛乳の量を守ってください。

容器の種類・大きさ・牛乳の量が違うと、うまくあたまらない場合があります。

- ・容器……背が低く広口のマグカップ。マグカップは右の大きさのものを目安にお使いください。
- ・1杯の量……200mlを基準としています。(基準より少ない場合は、沸騰するおそれがあります)

取り出すとき牛乳が突然沸騰し、飛び散ってやけどの原因となることがあります。

- ・あたためる前後に牛乳をスプーンなどでよくかき混ぜてください。
- ・あたためたあとは、少し時間をおいて取り出してください。

牛乳の量が異なる場合や、コーヒー・水などの飲みものは手動調理の「レンジ」で時間を控えめに設定し、様子を見ながらあたためてください。(28ページ参照)

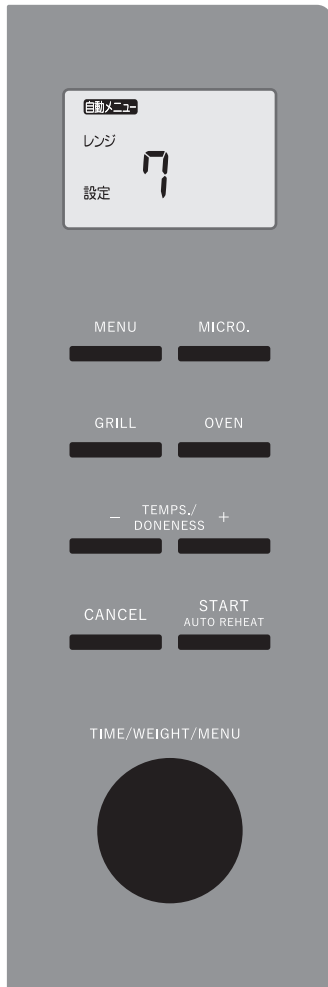


ご使用方法

自動メニュー6・7 / 野菜をゆでる

・野菜(葉菜・根菜)をゆでたようにレンジで加熱します。

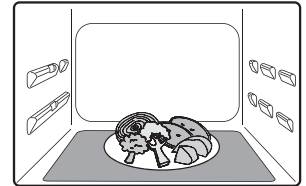
・「6 ゆで野菜(葉菜)」 「7 ゆで野菜(根菜)」メニューで1度にあたえられる野菜の分量は100~300gです。



1. 食品を庫内中央に置いてください。

食品は中央に置き、1つずつあたためるか、間隔を開けてあたためてください。積み重ねたり、1度にたくさん入れると、上手にあたたまりません。

※角皿は使えません。



2. **MENU** を押すか、『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して「6 ゆで野菜(葉菜)」または「7 ゆで野菜(根菜)」に合せてください。

※とびらを閉めて1分以内に押してください。

3. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、表示部に残り時間が表示され、終了するとブザーが3回鳴ります。

※残り時間は食品の種類・量によって変わります。



お好みで仕上りを調節する

メニュー選択後またはスタート後、10秒以内に『TEMPS./DONENESS』(温度(オープン)/仕上り)ボタンを押して調節してください。



※食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。

とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。

※容器が熱くなっているので、注意して取り出してください。

※加熱終了後、電気部品を冷却するため、ファンが動作することがあります。

ファンが動作中は電源プラグを抜かないでください。

ファンが動作中でも続けて加熱できます。

「6 ゆで野菜(葉菜)」:ほうれん草 / ブロッコリー / キャベツなど

※必ず平皿にのせて加熱してください。

ゆでかた……水洗いして食品のみをラップが密着するようにきっちり包み、ラップの重なり合う部分を下にして平皿にのせる。

※葉菜類は、食品のみラップをして、平皿ごとラップはしないでください。

・葉と茎を交互に重ね、太い茎には十文字に包丁を入れて、ラップできっちり包んでください。

・できるだけ幅広く包み、平皿からはみ出さないようにします。

・量が多いときは半分に分けてラップで包んでください。

「7 ゆで野菜(根菜)」:じゃがいも / さといも / かぼちゃなど

※必ず平皿にのせて加熱してください。

ゆでかた……水洗いして水がついたまま平皿にのせ、平皿ごとラップできっちり包んでください。

※根菜類は、平皿ごとラップをしてください。

ご使用方法

丸ごとゆでるとき

平皿ごとラップをして加熱し、加熱後は庫内から取り出してラップをしたまま約5分おいてください。

(食品が乾きやすいのでラップは取らずにおいておきます)

- ・2個以上のときは仕上がりを同じにするため、大きさをそろえてください。
- ・丸くて高さのある大きなじゃがいもなどは、『TEMPS./DONENESS』(温度(オーブン)/仕上り)ボタンを押して、仕上がりを「強」に設定してください。

切ってゆでるとき

皮をむいて大きさをそろえて切り少量の水を振りかけて平皿にのせ、平皿ごと食品に密着するようにきっちりラップをして加熱してください。

大きさの違う野菜や、水分を多く加える必要がある野菜をゆでるときは、多めに水を振りかけて耐熱容器に入れ、ラップをして手動調理の「レンジ600W」で様子を見ながら加熱します。(26～28ページ参照)

食品の分量が100g未満の場合は手動調理の「レンジ600W」で様子を見ながら加熱してください。(26～28ページ参照)

加熱終了後、さらに加熱したいときは食品の上下をひっくり返したり左右を入れ替えたりして、手動調理の「レンジ600W」で様子を見ながら加熱してください。(26～28ページ参照)

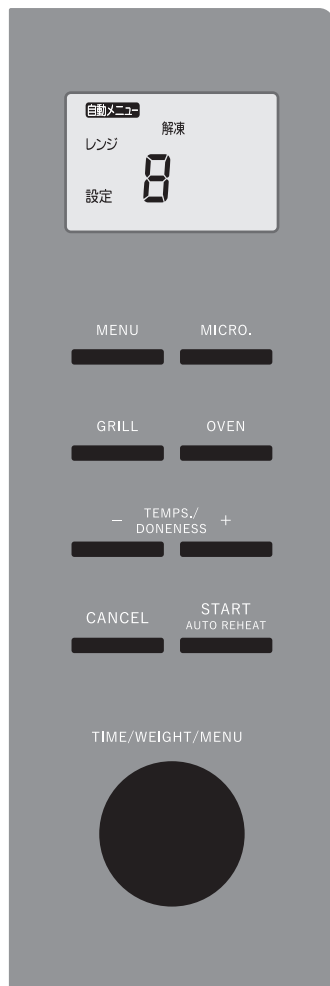
警告

- ・ラップを何重にも重ねたり、巻いたり、ラップ以外のものをかぶせたりしないでください。正しい使いかたをしないと、食品が発煙・発火する原因となります。また、火花が出て庫内底面が割れるなど、故障の原因となります。
- ・小さく切ったにんじんやミックスベジタブルを「7 ゆで野菜(根菜)」で加熱すると、火花が出て焦げたり、乾燥することがあります。
- ・自動で調理すると、発煙・発火の原因となります。

ご使用方法

自動メニュー8・9／解凍・半解凍する

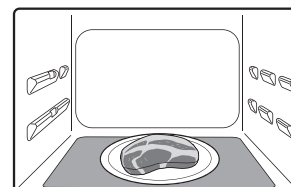
- ・冷凍庫で冷凍保存していた肉や魚などをレンジ加熱で解凍します。
冷凍庫から出したらずぐに、凍った状態で解凍してください。
- ・「8 肉・魚(解凍)」 「9 刺身(半解凍)」メニューで1度にあたためられる分量は100～300gです。



1. 食品を庫内中央に置いてください。

ラップやふたをしないで、
発泡トレイのまま解凍してください。
発泡トレイがない場合は、
平らな皿に置いてください。

※角皿は使えません。



2. **MENU** を押すか、『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して「8 肉・魚(解凍)」または「9 刺身(半解凍)」に合わせてください。 ※とびらを閉めて1分以内に押してください。

3. **START AUTO REHEAT** を押し、ダイヤルを回して重量を設定してください。 ※重量(100～300g)を設定してください。

4. **START AUTO REHEAT** を押し、加熱が始まり、表示部に残り時間が表示され、終了するとブザーが3回鳴ります。 ※残り時間は食品の種類・量によって変わります。



お好みで仕上りを調節する

メニュー選択後またはスタート後、10秒以内に『TEMPS./DONENESS』(温度(オープン)/仕上り)ボタンを押して調節してください。



- ※食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
- ※容器が熱くなっているので、注意して取り出してください。
- ※加熱終了後、電気部品を冷却するため、ファンが動作することがあります。ファンが動作中は電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。

解凍する食品の厚さ

十分に解凍できる厚さは3cmまでです。厚みを均一にして、薄い部分がないように準備します。複数解凍するとき同時に2つ以上解凍するときは同じ種類、同じ大きさのものをそろえます。

アルミホイルで、変色や煮えを防ぐ

魚など不均一な形の場合に、薄い・細い部分に巻いて、加熱しすぎを防ぎます。
※アルミホイルはきちんと巻いてください。アルミホイルが庫内壁面・底面・とびらに触れると、火花が出たり、とびらのガラスが割れるおそれがありますので触れないように注意してください。

解凍する食品の形状や種類によっては、部分的に煮えたり、かたいところが残ったりすることがあります

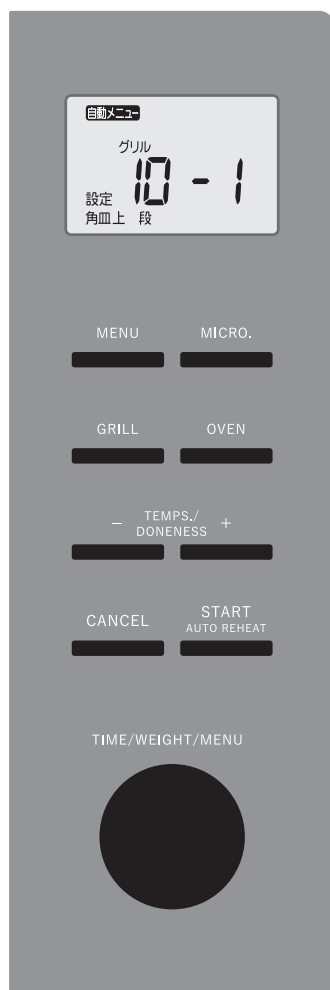
解凍する食品の分量が100g未満の場合や解凍不足のとき

手動の「レンジ200W」で様子を見ながら解凍してください。(26～28ページ参照)

- ・食材は新鮮なものを用意し、冷凍してください。
- ・食材は1回分ずつ薄く(2～3cm)、厚みは均一、平らな形にそろえてください。重ねたり、かたまり状にすると十分に解凍できません。

ご使用方法

自動メニュー10／トーストを焼く(グリルを使用します)

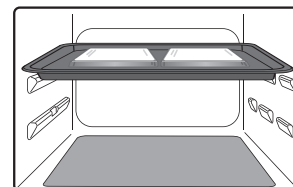


1 角皿に食パンをのせ、庫内上段に入れてください。

並べかた(食パンは6枚切りを標準としています)
1枚:真ん中に置いてください。
2枚:横1列に並べてください



角皿は上段へ



2. **MENU** を押すか、『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』

『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して
「10 トースト」に合わせてください。

※とびらを閉めて1分以内に押してください。
焼き色は『TEMPS./DONENESS』
(温度(オーブン)/仕上り)ボタンで加減してください。
(「強」…焼き色濃いめ、「弱」…焼き色薄め)



枚数表示

3. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、

表示部に残り時間が表示されます。

※加熱時間は、約4～5分(裏返すまでは約3分)です。
※庫内の温度により短くなることもあります。



お好みで仕上りを調節する

メニュー選択後またはスタート後、10 秒以内に
『TEMPS./DONENESS』(温度(オーブン)/仕上り)
ボタンを押して調節してください。



4. ブザーが5回鳴ったら、すぐに食パンを裏返し **START AUTO REHEAT** を押してください。

- ・角皿が熱いので、市販のミトンをはめて角皿を取り出してください。
- ・加熱はいったん停止します。
とびらを閉めて再度『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたため)ボタンを押すと加熱が再開し、終了するとブザーが3回鳴ります。
とびらを閉めないで『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたため)ボタンを押しても動作しません。

※裏返しを忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。
とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。

加熱終了後、さらに加熱したいときは

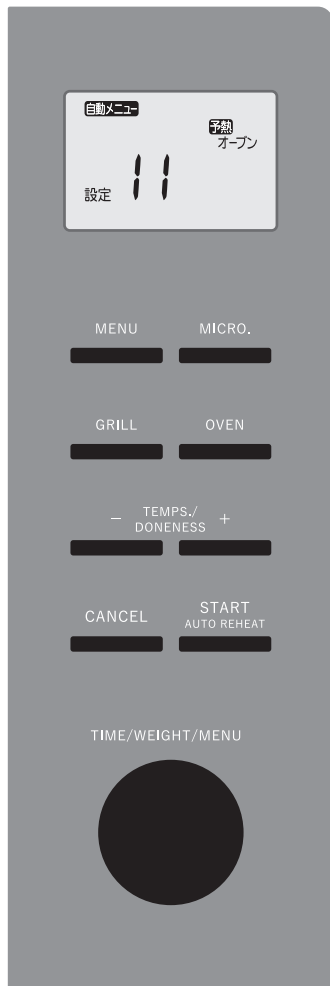
手動調理の「グリル」で様子を見ながら加熱してください。(31ページ参照)

- ・厚いパン、糖分や油脂分の多いパンなどは焼き色が濃くなります。
- ・食パンの種類、大きさ、水分量、庫内の温度、裏返すタイミングなどにより、焼き色が変わることがあります。

ご使用方法

自動メニュー11／ピザを焼く(オーブン《予熱あり》を使用します)

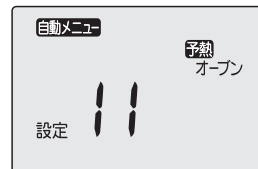
「11 ピザ」メニューで1度にあたえられる分量は直径22cm×1枚(約250g)です。



1. **MENU** を押すか、『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』

『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して「11 ピザ」に合わせてください。

電源が入っていない場合は、とびらを開閉し、電源を入れてください。予熱をするため、庫内には何も入れないでください。

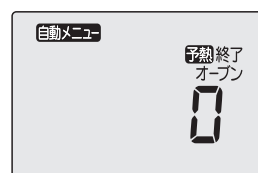


2. **START AUTO REHEAT** を押してください。

予熱を開始しブザーが5回鳴ると、予熱が完了し、表示部に「予熱終了」と表示されます。

※予熱は約22分間保持されます。

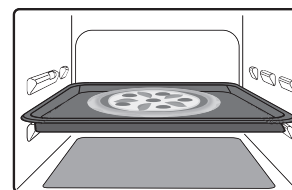
その間、何もしないとピーピーピーと鳴って設定が取り消されます。



3. 角皿にピザをのせ、 庫内下段に入れてください。

※庫内が熱くなっていますので、市販のミトンをはめるなど、十分注意して入れてください。

※角皿は下段へ。



4. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、 表示部に残り時間が表示され、 終了するとブザーが3回鳴ります。

※残り時間は食品の種類・量によって変わります。



お好みで仕上がりを調節する

メニュー選択後またはスタート後、10秒以内に『TEMPS./DONENESS』(温度(オーブン)/仕上げ)ボタンを押して調節してください。



- ・焼き上がったピザはすぐに取り出してください。余熱で焼き過ぎになります。
- ・角皿が熱いので、市販のミトンをはめて角皿を取り出してください。
- ・終了後、表示部に「高温注意」と表示されます。
- ・食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。
- ・とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
- ・調理中は、ファンが自動で運転・停止します。

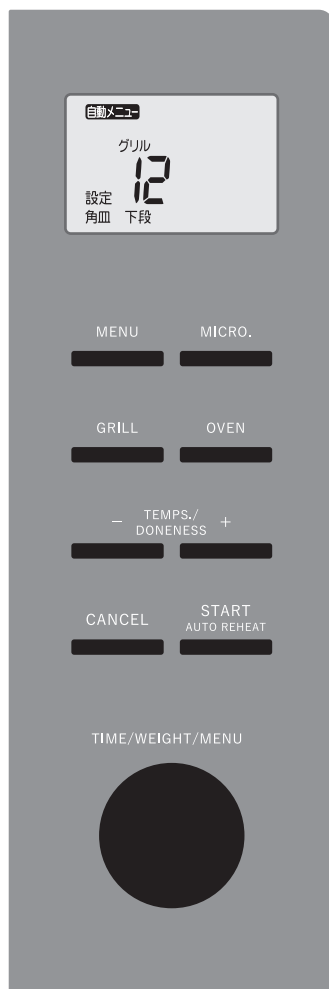
加熱終了後、さらに加熱したいときは

手動調理の「オーブン(予熱なし)」で様子を見ながら加熱してください。(30ページ参照)

ご使用方法

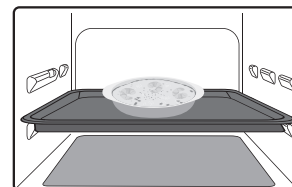
自動メニュー12／グラタンを焼く(グリルを使用します)

「12 グラタン」メニューで1度に調理できる分量はグラタン皿2個分です。



1. 下ごしらえした食品を角皿にのせ、
庫内上段に入れてください。

※角皿は下段へ。



2. **MENU** を押すか、『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して「12 グラタン」に合わせてください。
※とびらを閉めて1分以内に押してください。

3. **START AUTO REHEAT** を押してください。
※とびらを閉めて1分以内に押してください。

4. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、
表示部に残り時間が表示され、
終了するとブザーが3回鳴ります。
※残り時間は食品の種類・量によって変わります。



お好みで仕上りを調節する

メニュー選択後またはスタート後、10秒以内に『TEMPS./DONENESS』(温度(オーブン)/仕上り)ボタンを押して調節してください。



- ・焼き上がったグラタンはすぐに取り出してください。
余熱で焼き過ぎになります。
- ・角皿が熱くなるため、市販のミトンをはめて角皿を取り出してください。
- ・終了後、表示部に「高温注意」と表示されます。
- ・食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。
- ・とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
- ・調理中は、ファンが自動で運転・停止します。

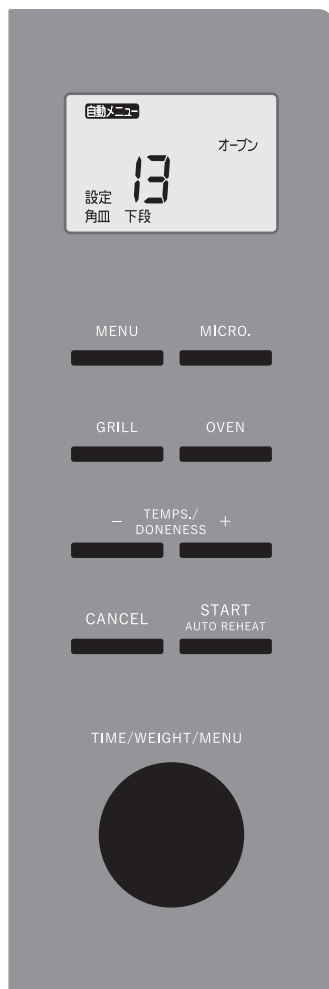
加熱終了後、さらに加熱したいときは

手動調理の「オーブン(予熱なし)」で様子を見ながら加熱してください。(30ページ参照)

ご使用方法

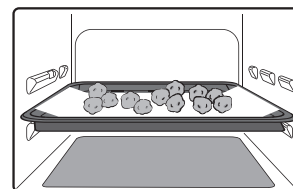
自動メニュー13／から揚げ(オープン《予熱なし》を使用します)

- ・「13 から揚げ」メニューで1度に調理できる分量は約250gです。
- ・加熱時間の目安は、約18分です。



1. 下ごしらえした食材を角皿にのせ、庫内下段に入れてください。

※角皿は下段へ。



2. **MENU** を押すか、『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して「13 から揚げ」に合わせてください。
※とびらを閉めて1分以内に押してください。

3. **START AUTO REHEAT** を押してください。
※とびらを閉めて1分以内に押してください。



4. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、表示部に残り時間が表示され、終了するとブザーが3回鳴ります。
※残り時間は食品の種類・量によって変わります。

お好みで仕上がりを調節する

メニュー選択後またはスタート後、10秒以内に『TEMPS./DONENESS』(温度(オープン)/仕上げ)ボタンを押して調節してください。



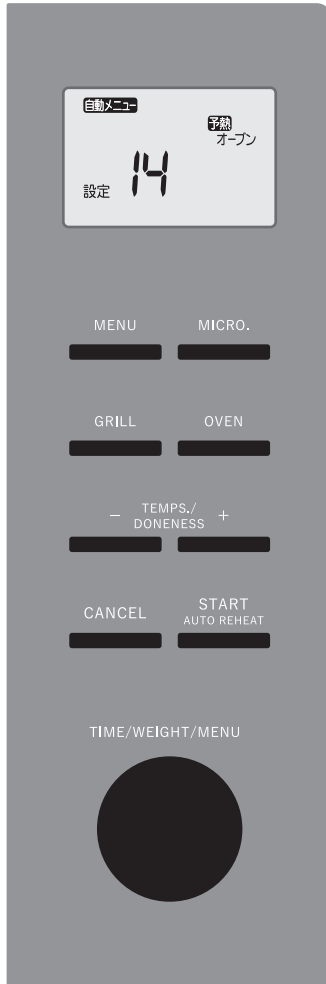
- ・焼き上がったから揚げはすぐに取り出してください。余熱で焼き過ぎになります。
- ・角皿が熱くなるため、市販のミトンをはめて角皿を取り出してください。
- ・終了後、表示部に「高温注意」と表示されます。
- ・食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。
- ・とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
- ・調理中は、ファンが自動で運転・停止します。

加熱終了後、さらに加熱したいときは
手動調理の「オープン(予熱なし)」で様子を見ながら加熱してください。(30ページ参照)

ご使用方法

自動メニュー14／クッキーを焼く(オーブン《予熱あり》を使用します)

「14 クッキー」メニューで1度に調理できる分量は25個分(約250g)です。



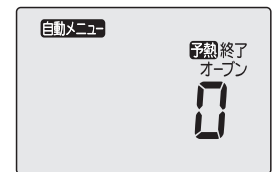
1. **MENU** を押すか、『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して「14 クッキー」に合わせてください。

※電源が入っていない場合は、とびらを開閉し、電源を入れてください。
※予熱をするため、庫内には何も入れないでください。



2. **START AUTO REHEAT** を押してください。予熱を開始します。ブザーが5回鳴ると、予熱が完了し、表示部に「予熱終了」と表示されます。

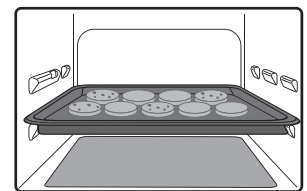
※予熱は約22分間保持されます。
その間、何もしないとピーピーピーと鳴って設定が取り消されます。



3. 角皿に食材をのせ、庫内下段に入れてください。

※庫内が熱くなっていますので、市販のミトンをはめるなど、十分注意して入れてください。

※角皿は下段へ。



4. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、表示部に残り時間が表示され、終了するとブザーが3回鳴ります。

※残り時間は食品の種類・量によって変わります。



お好みで仕上りを調節する

メニュー選択後またはスタート後、10秒以内に『TEMPS./DONENESS』(温度(オーブン)/仕上り)ボタンを押して調節してください。



- ・焼き上がったクッキーはすぐに取り出してください。余熱で焼き過ぎになります。
- ・角皿が熱くなるため、市販のミトンをはめて角皿を取り出してください。
- ・終了後、表示部に「高温注意」と表示されます。
- ・食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。
- ・とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
- ・調理中は、ファンが自動で運転・停止します。

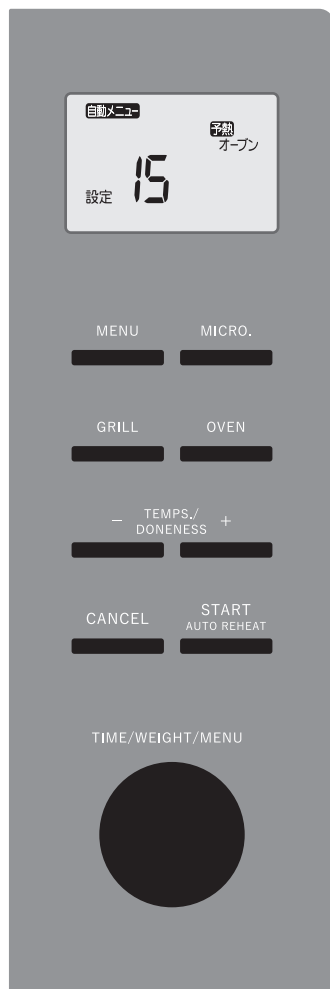
加熱終了後、さらに加熱したいときは
手動調理の「オーブン(予熱なし)」で様子を見ながら加熱してください。(30ページ参照)

ご使用方法

自動メニュー15／スポンジケーキ(オーブン《予熱あり》を使用します)

・「15 スポンジケーキ」メニューで調理できるサイズは6号(直径18cm)です。

・加熱時間の目安は、約24分です。



1. **MENU** を押すか、『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』

『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して「15 スポンジケーキ」に合わせてください。

※電源が入っていない場合は、とびらを開閉し、電源を入れてください。

※予熱をするため、庫内には何も入れないでください。

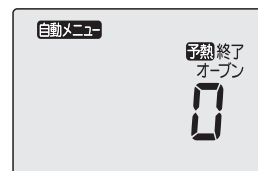


2. **START AUTO REHEAT** を押してください。予熱を開始

します。ブザーが5回鳴ると、予熱が完了し、表示部に「予熱終了」と表示されます。

※予熱は約22分間保持されます。

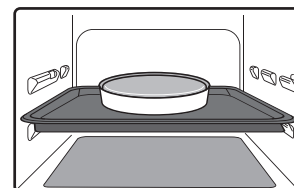
その間、何もしないとピーピーピーと鳴って設定が取り消されます。



3. 角皿に食材をのせ、庫内下段に入れてください。

※庫内が熱くなっていますので、市販のミトンをはめるなど、十分注意して入れてください。

※角皿は下段へ。



4. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、

表示部に残り時間が表示され、終了するとブザーが3回鳴ります。

※残り時間は食品の種類・量によって変わります。



お好みで仕上りを調節する

メニュー選択後またはスタート後、10秒以内に『TEMPS./DONENESS』(温度(オーブン)/仕上り)ボタンを押して調節してください。



- ・焼き上がったスポンジケーキはすぐに取り出してください。余熱で焼き過ぎになります。
- ・角皿が熱くなるため、市販のミトンをはめて角皿を取り出してください。
- ・終了後、表示部に「高温注意」と表示されます。
- ・食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。
- ・とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
- ・調理中は、ファンが自動で運転・停止します。

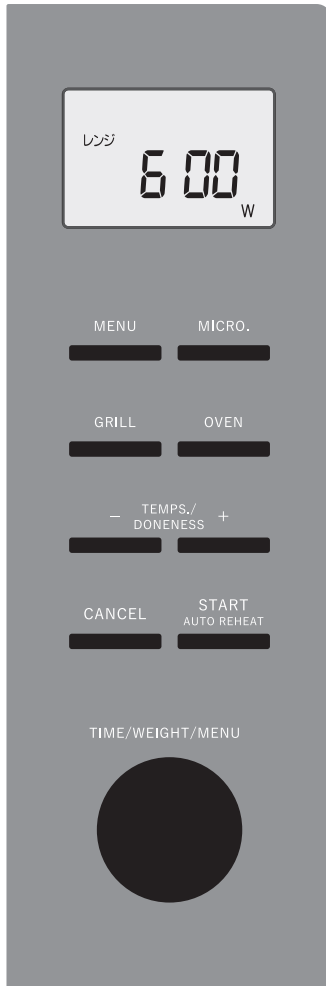
加熱終了後、さらに加熱したいときは

手動調理の「オーブン(予熱なし)」で様子を見ながら加熱してください。(30ページ参照)

ご使用方法

手動調理／レンジで加熱する

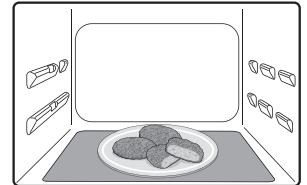
手動で出力・時間を合わせてレンジで加熱します。



1. 食品を庫内中央に置いてください。

食品の量にあった耐熱性の容器に入れてください。あたためはラップ不要ですが、食品によってはラップをかけて加熱します。詳しくは「レンジ加熱の設定時間の目安(27～28ページ)」をご参照ください。

※角皿は使えません。



2. **MICRO.** を押してください。

「600W」→「500W」→「200W(解凍)」→「900W」→「600W」……と切り替わります。



3. 『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して時間を合わせてください。

設定できる最大加熱時間は下記をご参照ください。
レンジ900W…3分
レンジ600W／500W…20分
レンジ200W(解凍)…60分



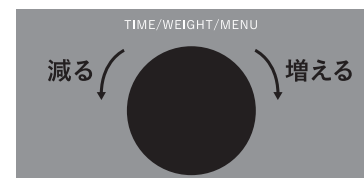
4. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、表示部に残り時間が表示され、終了するとブザーが3回鳴ります。

※残り時間は食品の種類・量によって変わります。



途中で加熱時間を増減したいときは『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して加熱時間を設定してください。

※1回の調理で設定できる時間は、追加時間を含め、最大設定時間までです。



※食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
※容器が熱くなっているので、注意して取り出してください。
※加熱終了後、電気部品を冷却するため、ファンが動作することがあります。ファンが動作中は電源プラグを抜かないでください。ファンが動作中でも続けて加熱できます。

※加熱を繰り返し行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。加熱が足りない場合は様子を見ながら加熱時間を追加してください。

ご使用方法

レンジ加熱の設定時間の目安

警告

- ・食品は加熱しすぎないでください。発煙・発火の原因となります。時間を控えめに設定し、調理中、様子を見ながら加熱してください。
- ・あんまんは、先にあんが熱くなり、3分以上加熱すると発煙・発火のおそれがあります。
- ・飲みもの、油脂の多い食品などは加熱しすぎないでください。取り出すときに突然沸騰し、やけどの原因となります。
- ・飲みものはあたためる前後にスプーンなどでよくかき混ぜてください。時間を控えめに設定し、調理中、様子を見ながら加熱してください。
- ・缶詰、ビン詰、袋詰、レトルト食品、真空パック入り食品は移し替えてから加熱してください。発火・破裂・製品の破損・怪我・やけどの原因となります。

- ・出力と時間を設定する調理時間の目安です。
- ・加熱時間は食品の分量にほぼ比例します。分量を半分にしたら、加熱時間も約半分にしてください。

※容量の単位：ml=cc

※常温：約20℃／冷蔵：約10℃／冷凍：約-20℃

あたため(レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
肉まん・あんまん	1個(90g)	約40秒	する
シュウマイ	100g(9個)	約50秒	する
ご飯	1杯(150g)	約1分	しない
野菜の煮物	150g	約1分20秒	しない
スープ・みそ汁	1杯(150ml)	約1分30秒	しない
カレー・シチュー	200g	約2分10秒	する

刺身・冷凍の肉の解凍(レンジ200W)

食材	分量	目安時間
刺身	100g	約1分
	200g	約1分50秒
	300g	約2分30秒
肉	100g	約2分
	200g	約3分30秒
	300g	約5分

冷凍した食品のあたため(レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
肉まん・あんまん(冷凍)	1個(90g)	約1分30秒	する
シュウマイ(冷凍)	100g(7個)	約2分	する
ご飯(冷凍)	1杯(150g)	約2分30秒	する
カレー・シチュー(冷凍)	200g	約6分	する

- ・ラップをしてあたためます。
- ・カレーなどのとろみのある食品は、あたたまったら全体を混ぜ合わせてください。

ご使用方法

野菜のゆでもの(レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
ブロッコリー	100g	約1分40秒	する
ほうれん草	100g	約1分50秒	する
キャベツ	100g	約2分	する
にんじん	100g	約2分	する
かぼちゃ	150g	約2分30秒	する
じゃがいも	1個(150g)	約3分40秒	する

飲みもの(レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間
酒かん(常温)	とっくり1本(160ml)	約50秒
コーヒー(常温)	1杯(150ml)	約1分10秒
水(常温)	1杯(200ml)	約1分20秒
牛乳(冷蔵)	1杯(200ml)	約1分40秒

冷凍ゆで野菜の解凍(レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
さといも	100g	約1分50秒	する
枝豆	100g	約1分50秒	する
かぼちゃ	150g	約3分	する

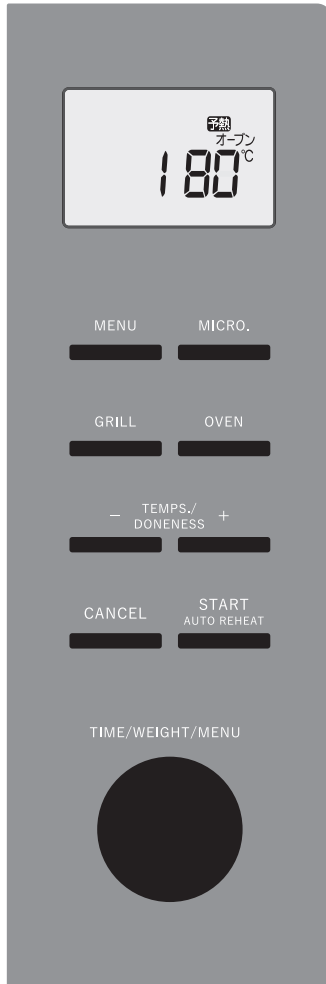
- ・市販の冷凍食品や加工品は、パッケージの記載内容を参考にして様子を見ながらあたためてください。
- ・ポップコーンはパッケージの加熱方法に従って、必ず近くで様子を見ながら調理してください。

ご使用方法

手動調理／オーブンで加熱・発酵する

予熱ありの場合

手動で温度・時間を合わせてオーブン(予熱あり)で加熱します。



1. 庫内に何も入れずに **OVEN** を1回押すと表示部に「予熱」と表示されます。

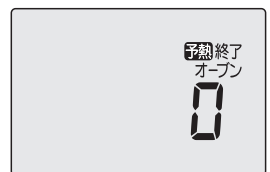


2. **TEMPS./DONENESS** を押して温度を合わせてください。



設定できる温度について
・オーブン(予熱あり):100°C~250°Cの範囲で
押すたびに10°C刻みで設定できます。
※庫内温度が高いときは、設定範囲が100°C~210°Cになります。

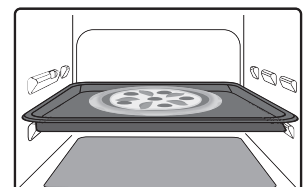
3. **START AUTO REHEAT** を押してください。



予熱を開始しブザーが5回鳴ると、予熱が完了し、表示部に「予熱終了」と表示されます。
※予熱は約22分間保持されます。

その間、何もしないとピーピーと鳴って設定が取り消されます。
※予熱中は調理時間や温度が変更できません。

4. 角皿に食材をのせ、庫内下段に入れてください。



※庫内が熱くなっていますので、市販のミトンをはめるなど、十分注意して入れてください。
※角皿は、調理に合わせて庫内上段または下段に置いてください。

5. 『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して加熱時間を設定してください。



加熱時間は、最大90分までの設定ができます。
※予熱終了後、とびらを開閉しないと時間設定できません。

6. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、



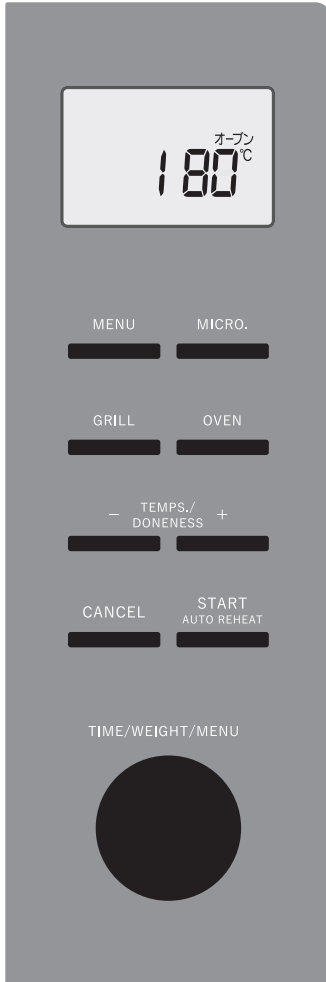
表示部に残り時間が表示され終了するとブザーが3回鳴ります。



- ・加熱時間を設定後、『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたたため)ボタンを押さないと設定が取り消されます。
途中で加熱時間を増減したいときはダイヤルを回して加熱時間を設定してください。
- ・1回の調理で設定できる時間は、追加時間を含め、最大設定時間までです。
- ・角皿が熱くなるため、市販のミトンをはめて角皿を取り出してください。
- ・終了後、表示部に「高温注意」と表示されます。
- ・食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。
- ・とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
- ・調理中は、ファンが自動で運転・停止します。

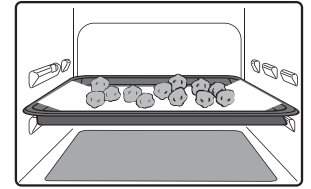
ご使用方法

予熱なし／発酵の場合

手動で温度・時間を合わせてオープン(予熱なし)で加熱／発酵します。



1. 角皿に食品をのせて庫内に入れ、
 を2回押してください。
発酵のときは、 を
3回押してください。



角皿は、調理に合わせて庫内上段または下段に置いてください。

2.  を押して温度を
合わせてください。

設定できる温度について

・オープン(予熱なし):100°C~250°Cの範囲で
押すたびに10°C刻みで設定できます。

※庫内温度が高いときは、設定範囲が100°C~210°Cになります。

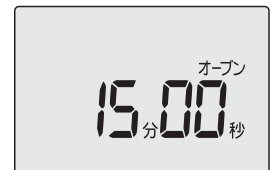
・発酵:40°Cまたは35°Cで押すたびに切り替わります。




3. 『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』
『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して
加熱時間を設定してください。

加熱時間は、最大90分までの設定ができます。

※予熱終了後、とびらを開閉しないと
時間設定できません。



4.  を押すと加熱が始まり、
表示部に残り時間が表示され終了すると
ブザーが3回鳴ります。



- ・加熱時間を設定後、『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたため)ボタンを押さないと設定が取り消されます。途中で加熱時間を増減したいときは『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して加熱時間を設定してください。
- ・1回の調理で設定できる時間は、追加時間を含め、最大設定時間までです。
- ・角皿が熱くなるため、市販のミトンをはめて角皿を取り出してください。
- ・終了後、表示部に「高温注意」と表示されます。
- ・食品を取り出し忘れるとブザーが1分おきに鳴ります(5分間)。
- ・とびらを開けるか、『CANCEL』(取消)ボタンを押すと止まります。
- ・調理中は、ファンが自動で運転・停止します。

発酵について

パン生地などを発酵するときに使用します。40°Cまたは35°Cであたためますので、庫内や付属品は、十分冷ましてから使用してください。

※表示部に「C21」「高温注意」と表示された場合は、庫内温度が高いため発酵できません。

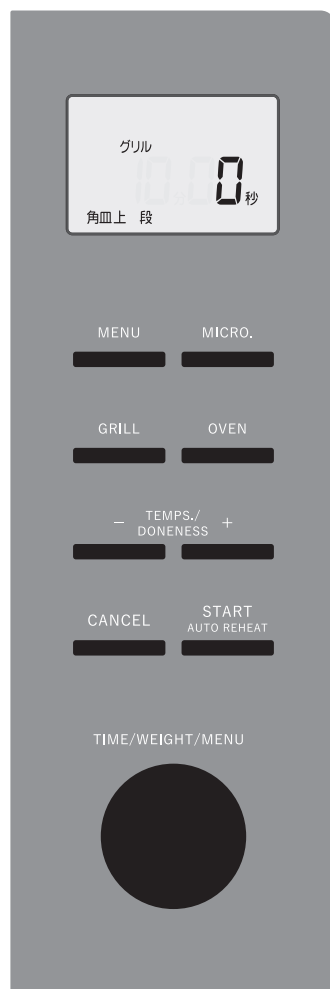
『CANCEL』(取消)ボタンを押し、とびらを開け、庫内の温度が下がるまで待ってください。

→「表示について(39ページ)」参照

ご使用方法

手動調理／グリルで加熱する

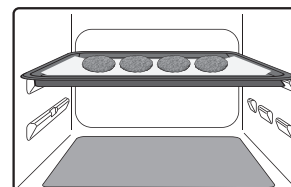
手動で時間を合わせてグリルで加熱します。



1. 角皿に食材をのせ、

庫内に入れ、**GRILL** を押してください。

上ヒーターで調理しますので、
角皿を上段に置くとより効率よくあたたまります。



2. 『TIME (調理時間)』『WEIGHT (重量)』 『MENU (自動メニュー)』ダイヤルを回して 加熱時間を設定してください。

加熱時間は、最大30分までの設定ができます。



3. **START AUTO REHEAT** を押すと加熱が始まり、 表示部に残り時間が表示され 終了するとブザーが3回鳴ります。

- ・加熱時間を設定後、
『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたため)ボタンを押さないと
設定が取り消されます。
途中で加熱時間を増減したいときはダイヤルを回して加熱時間を
設定してください。
- ・1回の調理で設定できる時間は、増やせる時間を含め、
最大設定時間までです。



加熱のしくみ、角皿について

レンジ加熱

電波で食品を加熱します。

- ・金串やアルミホイルなど金属物は使えません。

電波の性質

- ・電波が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子にまさつ運動が起こります。
- ・その結果、熱が発生し、食品は内部と外部が同時に加熱されます。
- ・陶器や磁器などは電波を通しますが、金属製の容器や、アルミニウムのレトルトパックなどは電波を反射するので加熱できません。

レンジ調理のポイント

加熱時間は食品の分量にほぼ比例します。分量を2倍にした場合は、加熱時間も2倍弱に合わせてください。
レンジ加熱は食品の水分が飛び、乾燥したり固くなりやすいので、時間は短めに設定して、様子を見ながら加熱してください。

ヒーター加熱

オーブン

- ・上下のヒーターを利用した庫内全体の熱で、食品を加熱します。
 - ・お惣菜やお菓子を調理するときなどに使います。
- ※庫内上部や底面は熱源に近いので、温度が高くなります。
背の高い型や食品は、上面が焦げないか様子を見ながら加熱してください。
※庫内温度は測定場所や食品の量などによってばらつくことがあります。

発酵

- ・温度を制御しながらヒーターで加熱します。
- パン生地などの発酵に使います。

グリル

- ・上ヒーターの強い熱を直接使って、食品の表面に焦げ目をつけます。
- ・両面を焼く場合は裏返しが必要です。
- ・食品は角皿にのせ、上段に入れます。食品に高さがあり、庫内上面に近すぎる場合は下段に入れてください。

角皿

お惣菜やお菓子を調理するときなどに使います。
※紙やシリコンなど金属製以外の型や、ふっ素樹脂加工の型は直接庫内に置かず、角皿にのせて加熱してください。

オーブン調理のポイント

食品のおきかたについて

加熱により、調理物が大きくなるメニューがあります。適度な間隔をあけてください。

加熱時間について

食品の様子を見ながら加減してください。続けて加熱するときなど庫内温度が高いときは、加熱時間を短く設定し、様子を見ながら加熱してください。

加熱中について

庫内の温度が下がりにくいのでとびらの開閉は最小限にしてください。

焼きムラが気になるときは

焼き色が濃い部分にのみ、アルミホイルをかけてください。

加熱後について

焦げすぎを防ぐため、すぐに食品を取り出してください。

お手入れ方法

お手入れは、汚れたらこまめに行ってください。

警告

- ・本体のお手入れは、必ずコンセントから電源プラグを抜き、本体が冷めてから行ってください。感電・怪我・やけどの原因となります。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ・庫内に付着した油や食品カス、水分を残したまま加熱しないでください。電波が汚れた部分に集中して火花の発生・発煙・発火などのおそれがあります。また、サビの原因となります。付着した場合は、本体が冷めてから必ずその都度拭き取ってください。
- ・次のものは使わないでください。

ベンジン・オーブクリーナー・可燃性ガス(LPGなど)入りの住宅用洗剤・たわし・金属たわし・シンナー・粉末クレンザー・漂白剤(アルカリ・酸性など)・スプレー洗剤・硬めのスポンジ・研磨剤入りナイロンたわし

損傷・変色・変形・発煙・発火・サビなどの原因となります。また、汚れが落ちにくくなります。

キャビネット・とびら

固くしぼった濡れふきんで拭いてください

汚れがひどい場合は、薄めた台所用洗剤(中性)をつけた布で拭き取り、固くしぼった濡れふきんで洗剤をよく拭き取ってください。

水をかけないでください。サビたり故障したりすることがあります。

庫内・とびらの内側

固くしぼった濡れふきんで拭いてください

- ・落ちにくい汚れは、濡れふきんを汚れの上に置いて30分ほどふやかしてから拭きます。汚れがひどい場合は薄めた台所用洗剤(中性)をつけた布で拭き取り、固くしぼった濡れふきんで洗剤をよく拭き取ってください。
- ・調理後に結露した水分は、冷めてから乾いた布で必ずその都度拭き取ってください。

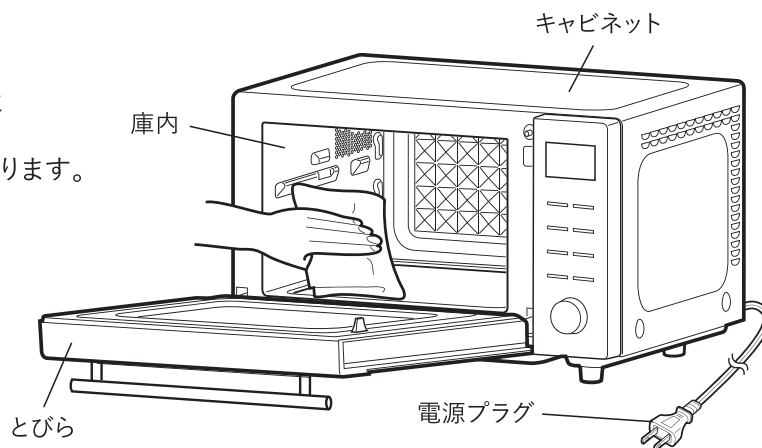
たわしやフォークなど先のとがった物でこすらないでください。傷付いたり、割れる原因となります。

庫内のおいが気になるとき

庫内の油分をきれいに拭き取ったあと、空焼きを行ってください。(11ページ参照)

電源プラグ

電源プラグのホコリは、乾いた布で定期的に取り除いてください。ホコリなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。



お手入れ方法

庫内底面

庫内底面の汚れは濡れふきんですぐに拭き取ってください

レンジ使用時の汚れが、オーブン使用時に焦げて黒くなる場合があります。

汚れがひどい場合は、薄めた台所用洗剤(中性)をつけた布で拭き取り、固くしぼった濡れふきんで洗剤をよく拭き取ってください。

・周囲のシリコンパッキンや庫内塗装面は傷が付くのでこすらないでください。

・金属たわしや先のとがったものでこすったり、衝撃を与えたりしないでください。傷ついたり、割れることがあります。

角皿

やわらかいスポンジで汚れを落とし、十分に水気を拭き取ってください

落ちにくい汚れは、ぬるま湯につけ置きしてから洗ってください。

汚れが気になるときは、台所用洗剤(中性)で洗ってください。

※角皿に水気が残っているとサビが付くことがあります。

角皿の汚れが取れにくい場合

メラミンフォームスポンジ(洗剤を使わないタイプの白いスポンジ)でこすって落としてください。

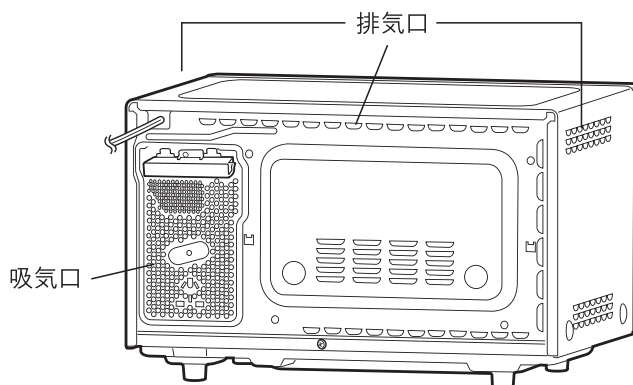
・使用後、急冷しないでください。破損・変形することがあります。また、加熱直後に水をかけると蒸気が発生したり、熱いしぶきが飛びます。

・金属たわしや先のとがったものでこすったり、落としたりしないでください。傷ついたり、変形することがあります。

吸気口・排気口

固くしぼった布でホコリを拭き取ってください

換気できずに、故障の原因となります。



調理で困ったとき

調理で困ったときなどは、下記の項目をご参照ください。

項目	こんなときは	対処方法
ご飯・ 冷凍ご飯の あたため	ご飯があたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ・食品が金属容器、アルミホイルなどで、覆われていませんか。 ・加熱を繰り返し行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。
	「1 あたため」であたためると熱くなりすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・『TEMPS./DONENESS』(温度(オーブン)/仕上り)ボタンで温度を「弱」に設定するか、『MICRO.(レンジ)』(手動調理)ボタンであたためてください。 ・あたためる分量が少なすぎませんか。
	ご飯などの食品がパサつく	<ul style="list-style-type: none"> ・あたためる前に霧を吹いたり、水を少しかけたりすると、しっとり仕上がります。
	冷凍ご飯があたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ・「2 冷凍ご飯」であたためていますか。「1 あたため」ではうまくあたためられません。
お惣菜・おかずの あたため	食品があたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ・食品が金属容器、アルミホイルなどで、覆われていませんか。 ・加熱を繰り返し行くと、電気部品保護のため、自動的に出力を下げる場合があります。
	「4 お惣菜」であたためると熱くなりすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・『TEMPS./DONENESS』(温度(オーブン)/仕上り)ボタンで温度を「弱」に設定するか、『MICRO.(レンジ)』(手動調理)ボタンであたためてください。 ・あたためる分量が少なすぎませんか。(「4 お惣菜」で1度にあたためられる分量は100～200gです。)
	煮物・煮魚などの煮汁が飛び散る	<ul style="list-style-type: none"> ・汁気を切って、深めの容器に入れてあたためてください。
	冷凍食品があたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍食品は『MICRO.(レンジ)』(手動調理)ボタンで様子を見ながらあたためてください。
	フライや天ぷらがしんなりする	<ul style="list-style-type: none"> ・キッチンペーパーを敷いた皿の上に並べ、手動調理のレンジ「500W」で時間を控えめに加熱してください。
牛乳の あたため	牛乳が熱くなりすぎる 牛乳がぬるい	<ul style="list-style-type: none"> ・「5 牛乳」であたためていますか。「1 あたため」ではうまくあたためられません。 ・あたためる杯数によって「5-1(1杯)」「5-2(2杯)」を選択してください。 ・容器に対して8分目まで入れてください。容器に対して少量しか入れないと沸騰するおそれや、多いとぬるくなります。

調理で困ったとき

項目	こんなときは	対処方法
解凍	うまく解凍できない	<ul style="list-style-type: none"> ・うまく解凍できる厚さは3cmまで。厚みを均一にし、細い部分や魚の尾などにはアルミホイルを巻いてください。 ・同時に2つ以上を解凍するときは、同じ種類、同じ大きさのものを解凍してください。 ・解凍するものによって、部分的に煮えたり、かたいところが残ったりすることがあります。 ・解凍不足の部分は手動調理のレンジ「200W」で様子を見ながら解凍してください。
ゆで野菜	野菜が乾燥気味になる	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜を洗い、水気を切らずにラップに包んでください。
	加熱しすぎのところと、加熱の足りないところがある	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃ、じゃがいもなどは加熱後、5分くらいそのままおいて蒸らします。
トースト	焼き色が薄い・濃い	<ul style="list-style-type: none"> ・薄くしたいときは、『TEMPS./DONENESS』(温度(オープン)/仕上り)ボタンを押して仕上がりを「弱」に設定してください。濃くしたいときは、『TEMPS./-DONENESS』(温度(オープン)/仕上り)ボタンを押して仕上がりを「強」に設定してください。 ・食パンの厚さ・大きさ・配合・パンの種類・水分量・室温・庫内の温度などで焼き色は変わります。
クッキー	焼き色にムラがある	<ul style="list-style-type: none"> ・生地の厚みや大きさは均一ですか。
スポンジケーキ	ケーキのふくらみが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・卵はしっかりと泡立てましたか。字が書けるくらいしっかりと泡立ててください。 ・粉を合わせたあと、混ぜすぎていませんか。
	きめが粗く粉っぽい	<ul style="list-style-type: none"> ・粉をふるって入れましたか。 ・粉がなじむまで混ぜましたか。
	泡立てがうまくできない	<ul style="list-style-type: none"> ・ボウルや泡立て器に、水分や油分がついていると泡立ちが悪くなります。
	中央が沈む	<ul style="list-style-type: none"> ・卵の泡立てすぎはありませんか。
オーブン加熱全般	できあがりの状態が悪い 焼き色にムラがある	<ul style="list-style-type: none"> ・室温、形、量、大きさ、初期温度、電源電圧などにより、焼き上がりの状態が変わることがあります。様子を見ながら加熱してください。 ・生地が大きさがそろっていないと焼きムラが出やすくなります。生地大きさをそろえてください。 ・焼きムラが気になるときは、加熱途中で食品の位置を入れ替えてください。また、部分的にアルミホイルをかけると上手に仕上がります。 ・型や条件によっては、レシピ通りの温度ではうまく仕上がらないことがあります。レシピの温度より10～20℃高め・低めに設定してみてください。

故障かな？

サービスを依頼される前に、下の表に従って点検してください。

症状	考えられる原因	対処方法
調理中、調理後に音(ファン)がしたりしなかったりする	・電気部品などを冷却するファンの音で故障ではありません。	・ファン動作中は、電源プラグを抜かないでください。
調理中、カチカチと音がする	・製品内部のスイッチ切り替え音です。	・故障ではありません。
オープンなど、ヒーター加熱時に、「ポッコポッコ」という連続音や、「ポコン」という音がする	・熱収縮による庫内壁面の音です。	・故障ではありません。
レンジ調理の開始時および途中で、「チリチリ」や「ジー」と連続音がする	・レンジ調理時の動作音です。	・故障ではありません。
電源プラグをコンセントに差し込んで、何も表示しない	・とびらを閉じた状態で、電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入りません。	・1度とびらを開けると、電源が入り表示します。
とびらを開けると、表示部に「0」が表示される	・とびらを開けたとき電源が入る仕様です。	・故障ではありません。
ボタンを押しても受け付けず、何も表示されない	・省エネルギーのため、とびらを開けたあと15分経過後電源が切れます。	・とびらを開け、食品を入れてから操作してください。
とびらがくもる	・調理中や調理後に、とびらのガラスがくもる場合がありますが、故障ではありません。2時間程度で自然に消えます。	・庫内の空焼きを行うと、30分ほどで消えます。(11 ページ参照)
加熱後、庫内やとびら内側に水滴が付着したり水滴が落ちる	・メニューによっては、食品から出た水蒸気が付着します。	・水滴は本体が冷めてから、乾いた布で拭き取ってください。また、設置面がやわらかかったり傾いていると、水滴が落ちやすくなります。十分な強度を持った平らな場所に置いてください。
とびらと本体の間から蒸気が漏れる	・蒸気の量や室温によって、蒸気が漏れることがあります。	・調理など性能上の影響はありません。また、レンジ調理での電波漏れすることはありません。
煙が出たり異臭がする	・使い始めは防錆の油が焼けて、においや煙が出ることがあります。 ・庫内の空焼きはしましたか。 ・庫内やとびらが汚れていませんか。	・故障ではありません。 ・空焼きをしてください。 ・庫内やとびらを清掃してください。
調理中に火花が出た	・レンジを使うメニューで金属容器、金網、金串、アルミホイルを使用していませんか。 ・庫内が汚れていませんか。	・金粉、銀粉、金箔、銀箔使用の容器は火花が飛ぶことがあります。 ・電波が汚れた部分に集中して、火花が出ることがあります。汚れは拭き取ってください。(33ページ参照)

故障かな？

症状	考えられる原因	対処方法
庫内が設定温度にならない	<ul style="list-style-type: none"> 温度は庫内が空の状態では中心部を熱電温度計法により測定しています。(JISの測定法による)庫内に食品や付属品を入れて市販の温度計で温度を測定すると、温度が合わないことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 故障ではありません。
レンジ加熱で、食品のあたたまりが不十分なことがある	<ul style="list-style-type: none"> 加熱を繰り返し行くと、電気部品保護のため自動的に出力を下げる場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 故障ではありません。
まったく動かない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが抜けていませんか。 途中でとびらを開閉したり、電源が切れた状態でボタンを押していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 1度とびらを開けると、電源が入り表示します。
ブレーカーが落ちた	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の電気容量(電力会社との契約容量A)以上で電気製品を使用していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の必要のない電気製品の電源をOFFにして、ブレーカーを復帰させてから再度使用してください。
『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたため)ボタンを押しても動かない	<ul style="list-style-type: none"> とびらを閉め、1分経過してから『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたため)ボタンを押していませんか。 「高温注意」が表示されていませんか。 とびらが確実に閉まっていますか。 デモモードになっていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 1度とびらを開閉してから、ボタンを押してください。 とびらを開けて庫内を冷まし、「高温注意」表示が消えてからボタンを操作してください。 とびらを閉めてください。 次のページの「d表示」を参照して解除してください。
自動メニューが選択できない	<ul style="list-style-type: none"> 自動メニューで調理をするときに、『MENU』(自動メニュー)ボタンを連続して押す、もしくは『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して自動メニューを選択していますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 『MENU』(自動メニュー)ボタンを連続して押すか、『TIME(調理時間)』『WEIGHT(重量)』『MENU(自動メニュー)』ダイヤルを回して自動メニューを選択してください。
『MENU』(自動メニュー)ボタンを押しても加熱されない	<ul style="list-style-type: none"> 『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたため)ボタンを押していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたため)ボタンを押すと加熱を開始します。
ブザーが鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ブザー音を消す設定(消音モード)になっていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ブザー音の消しかたと戻しかた(10ページ)に従って、設定しなおしてください。
料理のでき上がりが悪い	<ul style="list-style-type: none"> 調理のしかたは正しいですか。 庫内が、熱いまま調理しませんでしたか。 食品の量は適量でしたか。 庫内の上面や底面が汚れていませんか。 メニューを正しく選んで調理開始しましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ふた、ラップの有無、付属品など確認してください。 庫内の温度が下がるまで待ってください。 適切な量を調理してください。 お手入れを行ってください。 35～36ページの「調理で困ったとき」をご参照ください。

上記のことをお調べいただき、それでも不具合がある場合は使用を中止し、お買い上げ店または、弊社カスタマーサポートセンター(40ページ)までご連絡ください。

表示について

表示内容	考えられる原因	対処方法
「高温注意」	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーター加熱調理終了後など、庫内が高温のときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とびらを開け、温度が下がるまで待ってください。 ※25～30分程度で表示が消えます。表示中でも『CANCEL』(取消)ボタンを押すか、調理メニューを設定すると消え、一部のメニューは使用できます。
「C21」と「高温注意」	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンなどヒーター加熱調理のあとで、庫内温度が高いときに「発酵」を設定すると、表示部に「高温注意」が点滅します。このとき『START・AUTO REHEAT』(スタート・あたため)ボタンを押すと、左記の表示になります。 ・オープンなどヒーター加熱調理の後、庫内温度が高いときに「解凍」を開始すると表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『CANCEL』(取消)ボタンを押し、とびらを開けて温度が下がるまで待ってください。 ・『CANCEL』(取消)ボタンを押し、とびらを開けて温度が下がるまで待ってください。 ※『MICRO.(レンジ)』(手動調理)ボタンは使用できます。
「d」	<ul style="list-style-type: none"> ・デモモードが設定されていると、「d」が表示されます。デモモードが設定されていると表示が次々と変わりますが、加熱は行われません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『CANCEL』(取消)ボタンをピッピッとブザー音がするまで(約3秒)押したあと、もう1度『CANCEL』(取消)ボタンを押してください。さらに、『CANCEL』(取消)ボタンをピッピッとブザー音がするまで(約3秒)押したあと、もう1度『CANCEL』(取消)ボタンを押してください。
「H00」 ※0は数字	<ul style="list-style-type: none"> ・H00と表示されたときは、製品が故障している場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグを抜き、弊社カスタマーサポートセンターへ表示番号をお知らせください。

アフター販売



CS-K2197
角皿
3,080円(税込)

弊社オフィシャルストアにて本別売品、及び各製品の消耗品・部品のご注文を承っております。お電話でのご注文は代金引換のみの発送とさせていただきます。北海道・沖縄及び離島の送料は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

本書の税額はすべて2020年12月時点の税率となります。

アフターサービス

●保証書

必ず販売店印及びお買い上げ日をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

※通信販売などでお買い上げの場合は、販売店の購入明細、日付の入った代金引換の領収書などが販売店印の代わりとなりますので、大切に保管してください。

●アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または、弊社カスタマーサポートセンターにご相談ください。

補修用性能部品の保有期間は生産終了後5年です。

※この製品は日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

カスタマーサポートセンター

WEBからのお問い合わせ



受付時間外のお問い合わせは
お問い合わせフォームにて
受け付けております。

▶ lifeonproducts.co.jp/contact/form2

※返信は受付時間内での対応となります。
予めご了承ください。

TEL

お電話でのお問い合わせはこちら

お問い合わせの前に・・・

取扱説明書内の「故障かな？」にあてはまりませんか？
症状をご確認のうえ、お問い合わせください。

ご購入後のお問い合わせにつきましては、
以下の項目をご確認のうえお問い合わせください。

- 品番
- お買い上げ店名
- お買い上げ日
- 色
- お問い合わせ内容

消耗品・部品のご注文



下記オフィシャルサイトにて
消耗品及び部品のご注文を
承っております。

▶ lifeonproducts-online.com

カスタマーサポートセンター専用ナビダイヤル

▶ **0570-080856**

受付時間 10:00～17:00（土日祝、弊社休業日を除く）

※時間帯により、電話が集中し、つながりにくい場合がございます。
予めご了承ください。

※電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

※電話番号・受付時間などについては、変更になる場合がございます。

WEB



弊社ウェブサイトにて
製品情報及び製品サポート情報
をご確認いただけます。

▶ lifeonproducts.co.jp

カスタマーサポートセンター

〒550-0015

大阪府大阪市西区南堀江1-12-19 四ツ橋スタービル8F

●個人情報のお取り扱いについて

ライフオンプロダクツ株式会社は、お客様の個人情報・ご相談内容を、ご相談への対応・修理、その確認などのために利用し、記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

仕様

品名	オーブンレンジ
品番	LPRKC004
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	【レンジ】1400W 【オーブン】1380W 【グリル】800W
ヒーター消費電力	【オーブン】上:800W、下:550W 【グリル】800W
年間消費電力量	【レンジ】62kWh/年 【オーブン】10.6kWh/年
高周波出力	900W ^{※1} /600W/500W/200W相当 出力切替
発振周波数	2450MHz(±50Hz)
タイマー	【レンジ】900W:5秒～3分、600W/500W:5秒～20分、200W:5秒～60分 【オーブン】5秒～90分 【グリル】5秒～30分
温度調節	35/40°C(発酵)、100～250°C ^{※2} (庫内温度が高いときは210°Cまで)
庫内有効寸法(約)	283×321×189mm
庫内総容量(約)	18L
区分名	B
電源コード(約)	1.5m
本体寸法(約)	485×423×302mm
本体重量(約)	12kg(角皿含む)
セット内容	本体、角皿、取扱説明書(保証書付)

※1… 定格高周波出力900Wは短時間高出力機能(最大2分)であり、定格連続高周波出力は600Wです。600Wへは自動的に切り替わります。

※2… 250°Cでの運転時間は約5分です。その後は自動的に210°Cに切り替わります。温度を220°C以上に設定したときも自動的に210°Cに切り替わります。温度は庫内が空の状態で中心部を熱電温度計法により測定しています。(JISの測定方法による)

庫内に食品や付属品を入れて温度を測定すると、温度が合わないことがあります。

実際にお使いになるときの消費電力量は、使用回数や使用時間、食品の量、周囲温度などによって変化しますので、あくまで目安としてご覧ください。コンセントに電源プラグを差し、とびらが閉まった状態で表示部が消灯しているときの消費電力は「0」Wです。

年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定方法による数値です。(区分名も同法に基づいています)

総庫内容量とはJISの規定に基づいて算出された容量のことです。

製品の仕様や詳細は改良の為、予告なく変更される場合があります。



@lifeonproducts



Life on Products

ライフオンプロダクツ株式会社